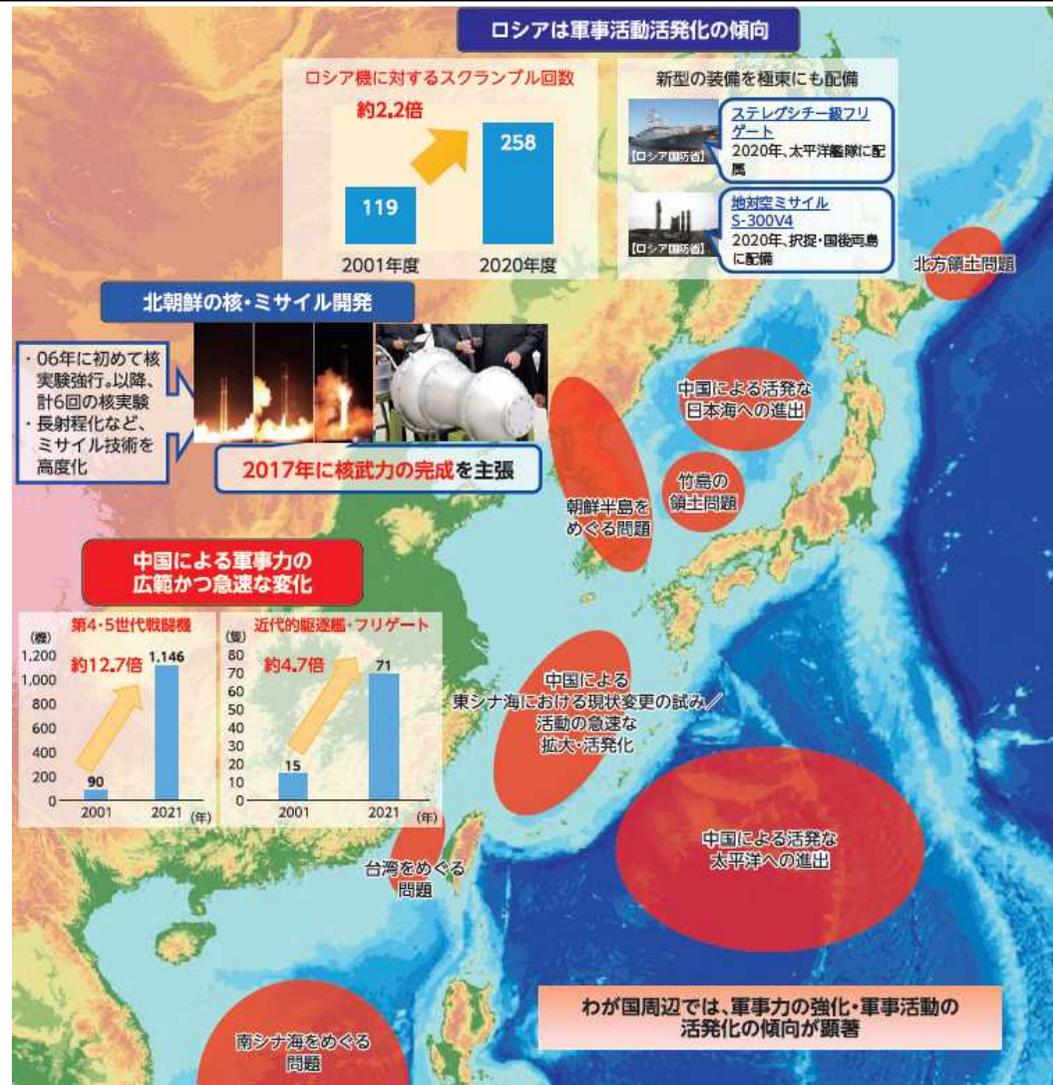
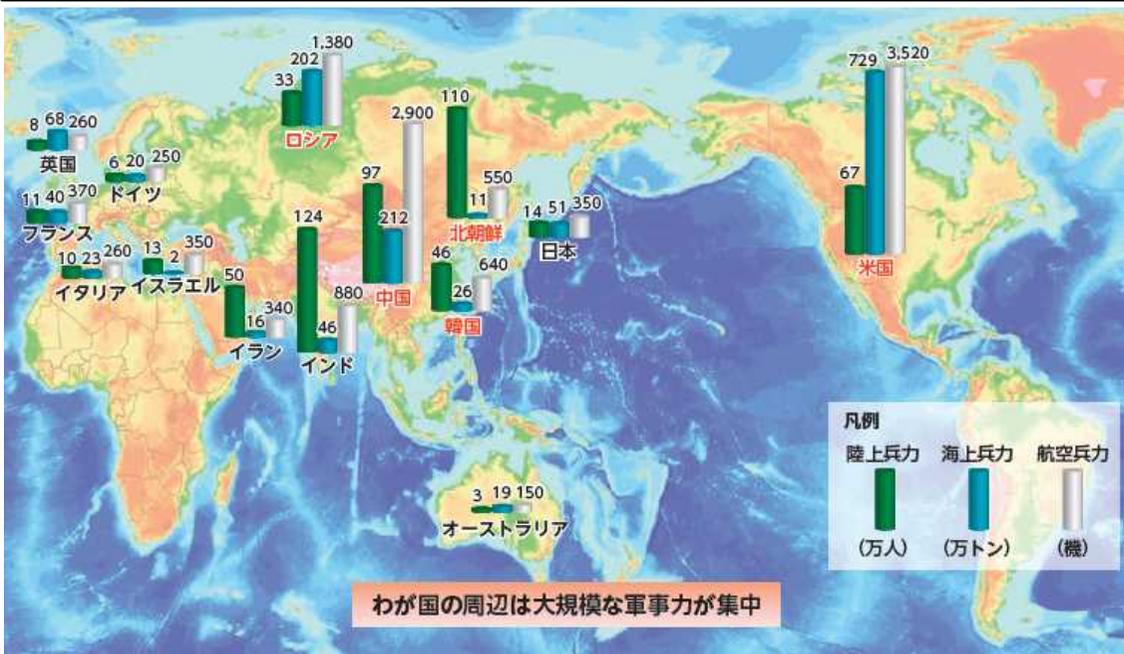


# 自衛隊における鉄道輸送

令和4年5月19日  
防衛省

# 我が国周辺の安全保障環境

- 我が国を含むインド太平洋地域は、政治体制や経済の発展段階、民族、宗教など多様性に富み、各国の安全保障観や脅威認識も様々
  - ・ 十分に制度化された安全保障面の地域協力枠組みがない (⇔欧州、NATOによる集団防衛)
  - ・ 統一問題や領土問題が依然として残っている (例：朝鮮半島、台湾、南シナ海等)
- 政治・経済・軍事にわたる 国家間の競争が顕在化、我が国周辺には大規模な軍事力を有する国家が集中
  - ⇒ いわゆるグレーゾーンの事態がより重大な事態へと発展していく リスクは他地域と比較して高い



| 陸上兵力 (万人) |       |     | 海上兵力 (万トン (隻数)) |        |             | 航空兵力 (機数) |         |       |
|-----------|-------|-----|-----------------|--------|-------------|-----------|---------|-------|
| 1         | インド   | 124 | 1               | 米国     | 729 (970)   | 1         | 米国      | 3,520 |
| 2         | 北朝鮮   | 110 | 2               | 中国     | 212 (730)   | 2         | 中国      | 2,900 |
| 3         | 中国    | 97  | 3               | ロシア    | 202 (1,130) | 3         | ロシア     | 1,380 |
| 4         | 米国    | 67  | 4               | 英国     | 78 (140)    | 4         | インド     | 880   |
| 5         | パキスタン | 56  | 5               | インド    | 46 (300)    | 5         | 韓国      | 640   |
| 6         | イラン   | 50  | 6               | フランス   | 40 (310)    | 6         | エジプト    | 600   |
| 7         | 韓国    | 46  | 7               | インドネシア | 27 (170)    | 7         | 北朝鮮     | 550   |
| 8         | ベトナム  | 41  | 8               | 韓国     | 26 (230)    | 8         | 台湾      | 520   |
| 9         | ミャンマー | 38  | 9               | イタリア   | 23 (180)    | 9         | サウジアラビア | 450   |
| 10        | ロシア   | 33  | 10              | トルコ    | 22 (210)    | 10        | パキスタン   | 440   |
| —         | 日本    | 14  | —               | 日本     | 51 (140)    | —         | 日本      | 350   |

(出典: Military Balance 2021、Jane's Fighting Ships 2020-2021等)

# ロシアによるウクライナ侵略の状況(令和4年5月11日現在)

- 現在、露軍は、ハルキウ州東部、ドンバス地域といった「ウ」東部方面及びヘルソン等の「ウ」南部方面への攻撃を強化。ドンバスの戦闘激化について、「ウ」政府は、「戦争の第二段階」に入ったとの認識を表明
- 人口密集地へのミサイル・多連装ロケットによる無差別攻撃により、「ウ」一般市民の犠牲者が増加
- 「ウ」軍発表の露軍損耗は、人員約2万5500人、戦車1130両、装甲戦闘車両2741両、固定翼機199機、ヘリ156機

3日、リヴィウ州、ザカルパッチャ州及びキーロヴォフラード州に対しミサイル攻撃。リヴィウ州では変電所3か所が被害に遭い、大規模停電が発生

4日、カービー米国防省報道官は、リヴィウへの露軍のミサイル攻撃について、侵略開始以前に宣伝されていたほど正確ではないとコメント

現在、「ウ」軍は、ハルキウ北部から東部にかけて露軍に対し攻勢をかけつつあり、露軍が後退している模様

4月28日、「ウ」軍は、ゲラシモフ露軍参謀総長が直前まで訪問していた、イジュームの露軍指揮所となっている学校を攻撃

3日、露国防省系TVは、クリミア半島所在の地对艦ミサイル部隊が、地对艦ミサイルによりオデーサ付近の地上目標を攻撃したと発表

露軍は「アゾフスターリ」製鉄所への攻撃を継続している模様



- 攻撃を受けたと報じられた地点
- ✈️ 攻撃を受けたと報じられた軍施設
- 🔥 特に激しい戦闘が行われている地域
- 露軍が占領した地点
- 🟡 地域

資料源: ウクライナ国営通信、ウクライナ政府機関ウェブサイト、露タス通信、ISW等

# ロシア軍・ウクライナ軍等における鉄道輸送の利用

- 今次のウクライナ侵略においては、ロシア軍、ウクライナ軍(及びウクライナの支援国)のいずれも、**重量貨物である各種装備品の輸送にあたり、高速・大量輸送可能な鉄道輸送を利用**

## ロシア軍

- ロシア軍においては、**極東所在部隊がシベリア鉄道経由でベラルーシへ輸送・展開したのち、キーウ攻略作戦に投入。キーウ周辺からの後退後、ベラルーシ領内に集結し、再び鉄道輸送によりロシア領内に移動。**ウクライナ東部のドンバス地域攻略作戦に再投入
- その他シベリア等の部隊も鉄道輸送によりウクライナ作戦に投入



(左)ウクライナ方面に向けたロシア軍戦車の移動とされる画像



(右)2021年の「ザーパド2021」演習における鉄道輸送(装備を積載した貨車と兵員が乗車した客車を混結)



(左)ロシア軍は平時の輸送(写真は徴集兵の勤務地への輸送)にも鉄道を活用

## ウクライナ軍等

### チェコ供与の戦車等の輸送



- 4月5日、チェコがウクライナにT-72戦車及びBMP-1歩兵戦闘車を供与したとの報道。**供与された装備は鉄道で輸送された模様**

### スロバキア供与の地対空ミサイルの輸送



- 4月8日、スロバキアがウクライナにS-300地対空ミサイル1個セット(細部不明)を供与したと公表。**供与された装備は鉄道で輸送された模様**

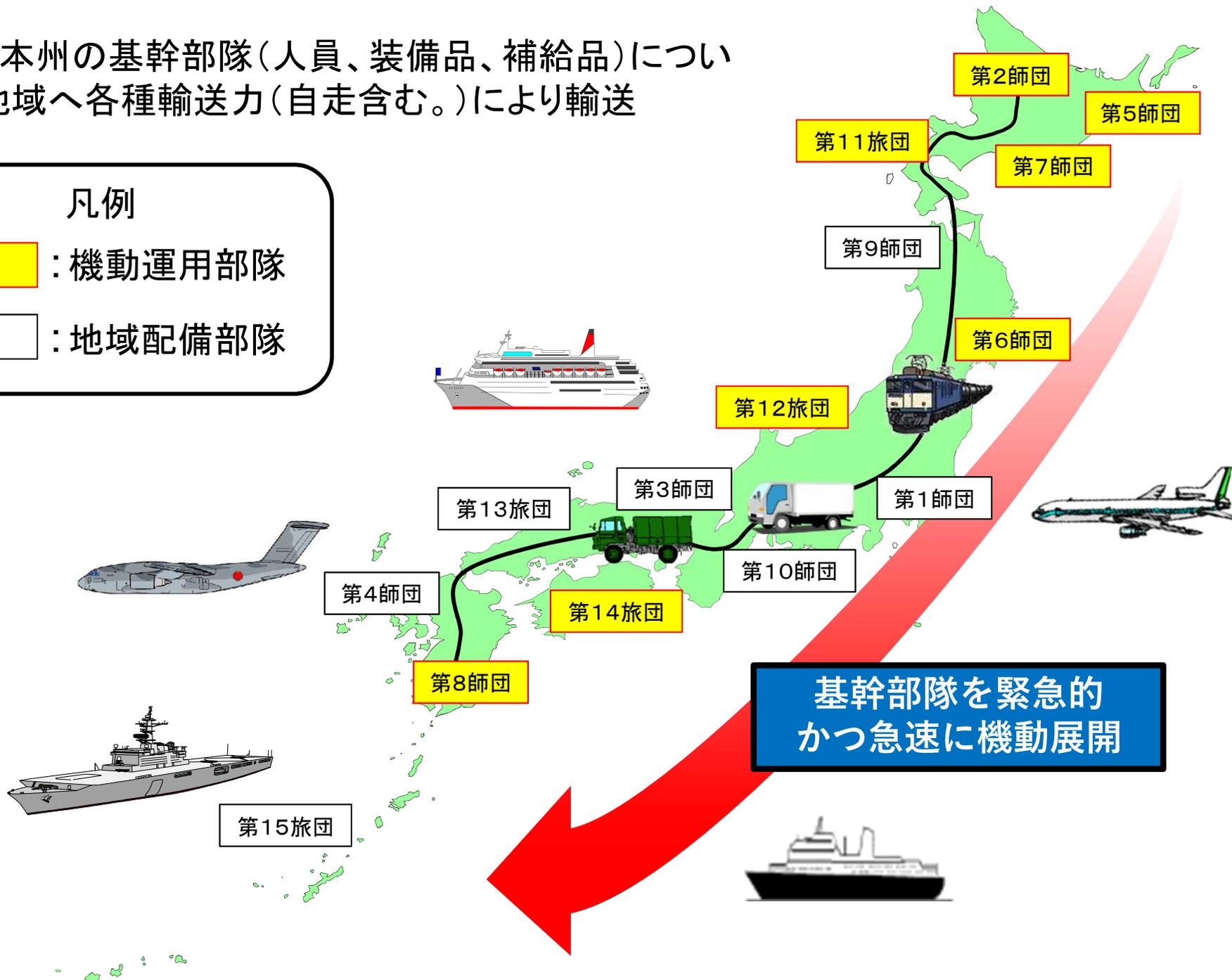
# 自衛隊の輸送オペレーションの全体像(イメージ)

北海道～本州の基幹部隊(人員、装備品、補給品)について、南西地域へ各種輸送力(自走含む。)により輸送

## 凡例

 : 機動運用部隊

 : 地域配備部隊



# 鉄道輸送の活用について

- 有事の際、北海道～本州の基幹部隊について、南西地域へ各種輸送力(自走含む。)により速やかに輸送を行う必要があり、主な輸送対象と輸送手段は概ね以下のとおり。

【北海道～九州】主に**鉄道**、トラック、船舶、航空機の民間輸送力を使用して輸送

- ・人員：民間輸送力(船舶、航空機)、自衛隊輸送力(陸上)
- ・装備品(車両、戦車、火砲等)：民間輸送力(**鉄道**、トラック、船舶)、自衛隊輸送力(陸上、航空)
- ・補給品(弾薬、燃料等)：民間輸送力(**鉄道**、トラック、船舶)、自衛隊輸送力(陸上、航空)

【九州～南西諸島】民間輸送力とともに、自衛隊輸送力を集中的に使用して輸送

- ・人員：自衛隊輸送力(海上、航空)、民間輸送力(船舶、航空機)
- ・装備品(車両、戦車、火砲等)：自衛隊輸送力(海上、航空)、民間輸送力(船舶、航空機)
- ・補給品(弾薬、燃料等)：自衛隊輸送力(海上、航空)、民間輸送力(船舶、航空機)

- 各種事態への実効的な対処を行うためには、**民間輸送力も含めた上記の各種輸送力を効果的に使用することにより、輸送期間全体を短縮する必要がある。**
- 各種輸送力のうち**鉄道輸送**は、北海道～九州における**コンテナによる多種多量の装備品・補給品等の輸送が可能であり、安全性やダイヤの安定性の観点からも輸送力としての期待は大きい。**



自衛隊の輸送力向上のため、**鉄道輸送の更なる活用を追求**

## 近年の貨物鉄道を利用した主要な訓練の実績

| 時 期                         | 訓 練              | 部 隊                             | 所 要   | 区 間   |
|-----------------------------|------------------|---------------------------------|---|---|
| 平成23年度<br>(H23年10月<br>～11月) | 協同転地演習           | 北部方面隊<br>(第7師団)                 | 装甲人員輸送車(WAPC) 10両   | 札幌貨物ターミナル～<br>西大分駅  |
| 平成27年度<br>(H27年7月)          | 協同転地演習           | 中部方面隊<br>(第13旅団)                | 偵察警戒車 2両<br>155mmりゅう弾砲(FH-70) 10門   | 岡山貨物ターミナル～<br>帯広貨物ターミナル   |
| 平成27年度<br>(H27年10<br>月)     | 協同転地演習           | 東部方面隊<br>(第12旅団)                | 155mmりゅう弾砲(FH-70) 4門<br>軽装甲機動車(LAV) 10両   | 宇都宮貨物ターミナル<br>～札幌貨物ターミナル  |
| 平成28年度<br>(H29年2月～<br>3月)   | 協同転地演習           | 北部方面隊<br>(第2師団)                 | 小型トラック 6両<br>軽装甲機動車(LAV) 1両   | 北旭川駅～西大分駅等  |
| 平成29年度<br>(H29年10<br>月)     | 協同転地演習<br>兵站業務訓練 | 北部方面隊<br>(第2師団)<br>補統、各補給処<br>等 | 【車両】<br>高機動車 1両<br>軽装甲機動車 1両<br>オートバイ 4両<br>【補給品】<br>弾薬コンテナ15本<br>その他補給品コンテナ13本 | 北旭川駅～<br>札幌貨物ターミナル～<br>八戸貨物ターミナル～<br>宇都宮貨物ターミナル<br>～京都貨物駅～西大分<br>駅～<br>鹿児島貨物ターミナル |
| 令和3年度<br>(R3年9月～<br>10月)    | 陸上自衛隊演習          | 東北方面隊<br>(第6師団)、<br>各補給処等       | 【車両】<br>装輪装甲車(WAPC) 3両<br><br>【補給品等】<br>弾薬コンテナ9本<br>装備品コンテナ4本                   | 【車両】<br>東京貨物ターミナル～<br>福岡貨物ターミナル<br>【補給品等】<br>郡山貨物ターミナル・<br>倉賀野駅・京都貨物駅<br>～西大分駅    |